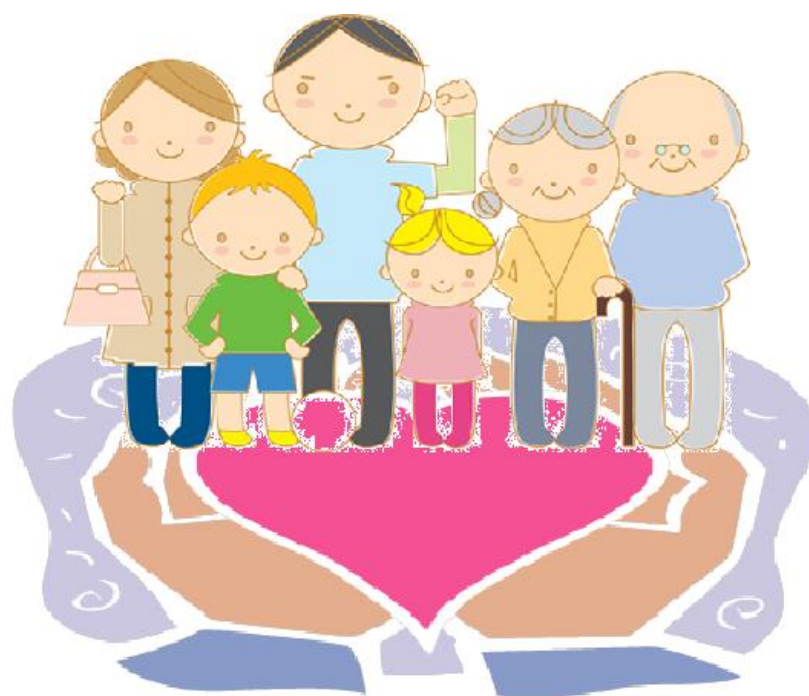


松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画



平成24年11月

松江市

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方について 目次

はじめに

第1章 幼稚園・保育所(園)のあり方の検討に向けて	1
1 検討の趣旨	1
2 幼稚園・保育所(園)の現状	2
3 課題	5
4 幼稚園・保育所(園)の個別課題	8
5 H23年度取り組み状況	13
第2章 松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画	14
基本理念	15
1 子育て・子育てに必要な就学前教育・保育環境の整備	15
2 子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり	18
3 就学前教育・保育の質の保証、向上の確保	23
4 将来を担う子どもたちの健全な発育・発達の促進	25

資料編

・幼稚園・保育所(園)一覧表	27
・幼稚園・保育所(園)の園児・児童、待機児童数、推移等	28
・松江市の年齢別将来人口推計	34
・幼稚園・保育所数(類似都市比較)	35
・松江市の現状(松江市次世代育成支援行動計画抜粋)	36
・松江市立幼稚園・保育所(園)のあり方について(平成19年2月策定)	41
・前回の報告書で示された地区別の現在の状況及びH24,25年度の3~5歳児数推計	51
・平成24年度小学校就学予定児童の就学前所属先状況	54
・特別保育事業実態報告	57
・平成19年2月【報告書】で示された方向性とその実施状況	61
・「保幼小中連携」について	64
・幼稚園・保育所の運営費について	70
・「子ども・子育て新システム」の幼保一体化について	71
・松江市独自の幼稚園と小学校の連携、幼保一元化事業について	73
・保育所の運営費について	75
・特別保育事業の補助金について	75
・保育料について	76
・中学校区ごとの保育所(園)、幼稚園、小学校	78

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会設置要綱

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会委員名簿

はじめに

近年、松江市においては、少子化の急速な進行、核家族化の進展、地域コミュニティの希薄化などにより、子育てに不安を抱える親の増加や家庭・地域社会における教育力の低下が問題となっています。

また、就労する女性の増加により、年々保育所に入所する乳幼児が増えています。毎年度、保育所整備等により定員増を図るとともに、定員の弾力化により、定員以上の入所児童を受け入れていますが、未だ待機児童の解消が図られない状況です。

一方、幼稚園では入園者が年々減少し、園児数が20人に満たない小規模園が生じており、適正な集団教育を図ることが困難な状況にあります。

また、幼稚園における3歳児保育の充実、保育時間の延長などのニーズや、保育所における一時保育、病児・病後児保育などに対するニーズも多くなっています。

このような多様化した子育てニーズに対応しながら、誰もが安心して子供を産み育てることのできる子育て環境、すべての子どもが自らの力で心身ともに成長することのできる子育て環境を再構築することは、松江市が早急に取り組むべき課題であります。

そのような中で、平成23年度に「松江市における幼稚園・保育所（園）のあり方検討委員会」を設置し、今後の松江市における幼稚園・保育所のあり方について検討していただきました。

社会情勢の変化による保護者のニーズの変化にどのように対応していくか、国の『子ども・子育て新システム検討会議』における幼保一体化を含む、就学前教育・保育についての検討状況も視野に入れ議論しました。

検討委員会では、松江市の将来を担う子どもたちの健全な育成・発達を促進するために、就学前の子どもたちの教育・保育をどのように提供すべきかという観点と、わが子を健やかに育てたいと願う保護者が安心して産み、育てるための環境はどうあるべきかという観点で検討いただきました。

松江市では、検討委員会の検討結果を踏まえ、松江市の計画として「松江市における幼稚園・保育所（園）のあり方計画」を策定しました。今後、この計画に基づき、十分地元や保護者と協議し、保育・教育内容の質の低下や保護者の負担増が発生しないよう調整しながら、具体的な施策を実施してまいりたいと考えています。